

小学生対象に 職業体験イベント共同開催

佐川急便

佐川急便（辻尾敏明社長）は3月28日、フューチャー・イノベーション・フォーラム（FIF）と共同して東京・江東区の同本社東京本部で職業体験イベントを実施した。小学生などを対象に、体験を通じて社会のしくみや働くことについて考えてもらうことを目的として、佐川急便とFIFが共同で企画・運営している社会貢献活動で、今回が5回目の開催。



職業体験のもよう

FIFはフューチャーアーキテクト(株)を幹事会社とする教育等支援団体で、2006年に発足。現在750の協力企業・団体とその社員1200人を会員として、職業体験や出張授業などを実施している。

当日は抽選で選ばれた

小学5、6年生の18人が佐川急便の制服を着用し、荷物の配達・集荷や営業店での業務などを体験した。また、子どもたちに未来のリーダーを指してもらったためとして、佐川急便の栗和田榮一会長へ、直接質問できる時間を設けた。